



脱炭素化支援プラットフォーム CARBONIX に 製品単位で GHG（温室効果ガス）排出量を算定できる新機能追加

2023 年 6 月 30 日

株式会社 Sustech

株式会社 Sustech（代表取締役：丹野裕介・飯田祐一郎 本社：東京都港区／以下、Sustech）は、このたび、Sustech の運営する脱炭素化支援プラットフォーム「CARBONIX」のオプション機能として、「製品単位 GHG 排出量算定」機能を新たに開発し、本日よりサービスメニューとして追加致しました。Sustech は今後も、カーボンニュートラル社会の実装に向けて、企業や団体の GX（グリーントランスフォーメーション）の効率化を加速して参ります。

「製品単位 GHG 排出量算定」機能、開発の背景について

昨今の脱炭素の潮流の中、GHG 排出量の削減は重要な経営課題の 1 つに位置付けられています。社会全体の GHG 排出に対する取り組みの中、GHG 排出量を把握することが、世界全体の企業においての課題となっております。特にものづくりにおいては製品単位での GHG 排出量を精度高く把握し、情報開示を行うことが様々なステークホルダーから求められ、その要望は年々増加しています。製品単位での GHG 排出量算定に当たっては、製品を構成する数多くの原材料・素材・半製品・輸送・投入エネルギー等の各種情報を収集・整理する必要がある等、膨大な業務負荷が発生します。この度「CARBONIX」に搭載する「製品単位 GHG 排出量算定」機能は、このようなものづくり特有の様々な課題を解決します。

「製品単位 GHG 排出量算定」機能について

Sustech が運営する脱炭素化支援プラットフォーム「CARBONIX」のオプション機能として、「製品単位 GHG 排出量算定」機能を新しく搭載します。各製品を構成する素材や部品、製造の各プロセスに係る排出量をそれぞれ計算し、精度の高い製品単位の GHG 排出量算定を実現しました。

本機能の主な特徴は下記のとおりです。

- 積み上げ方式、案分方式、のどちらの算定方式にも対応できる、製品登録・GHG 算定機能
- GHG 排出量を様々な切り口で分析し、結果を視覚的に把握できる「ダッシュボード」機能
- 必要な情報をエクセルや CSV でダウンロードできる「レポート出力」機能

TOPPAN エッジ株式会社

執行役員 事業推進統括本部長 馬場修二

TOPPAN

2023年3月15日に Sustech と TOPPAN エッジ株式会社は業務提携契約を締結し、企業や団体のGXを協働で推進しています。その一環としてTOPPANエッジもCARBONIXの提供をサポートしています。今回CARBONIXに追加された「製品単位GHG排出量算定」機能は、企業や団体がGHG排出量を制度高く把握するために必要不可欠な機能であり、広くお客さまへご提供することで社会のGX推進の一助になると考えます。今後もTOPPANエッジの業務効率化のノウハウや社会課題解決型ソリューションとSustechが新規に開発・提供するソリューションを積極的に連携し、カーボンニュートラル社会の実現に向けて両社でさらなるパートナーシップを深めて参ります。

■株式会社 Sustech

代表取締役：丹野裕介・飯田祐一郎

本社所在地：東京都港区芝 3-1-14 芝公園阪神ビル 5階

URL：<https://sustech-inc.co.jp/>

Sustechは、「テクノロジーを活用し、企業と社会のGXに貢献する」を経営理念に掲げ、脱炭素化支援プラットフォーム「CARBONIX」や分散型電力運用プラットフォーム「ELIC」など、カーボンニュートラル化支援事業を複数展開している企業です。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 Sustech 広報部 03-6722-6301